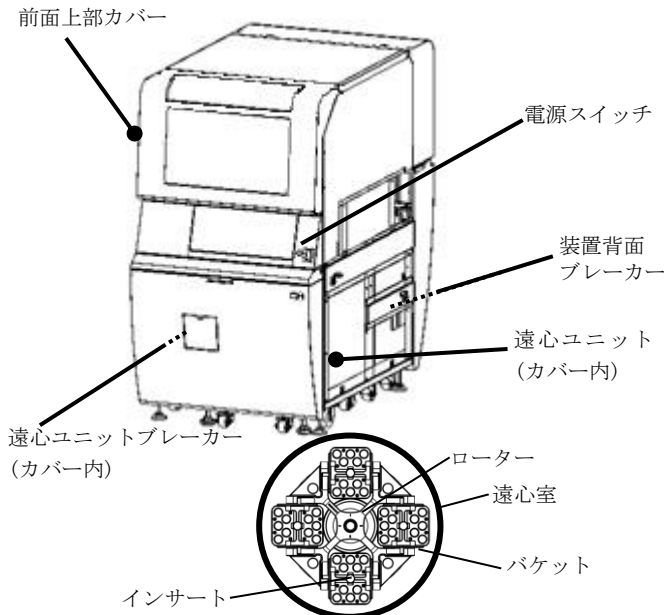


機械器具 26 医療用遠心ちんでん器  
36465000 一般医療機器 汎用検査室用遠心機

LPAM 遠心モジュール CM

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



| 項目      | 内容                                                   |
|---------|------------------------------------------------------|
| 型式      | CM                                                   |
| 対応容器    | 外径： 13mm、16mm<br>長さ： 100mm、75mm<br>栓形状： ゴム栓、オーバーキャップ |
| 回転速度    | 最高 3500rpm                                           |
| 架設検体数   | 最大 40 本                                              |
| 電源仕様    | AC200/220/230/240V 50/60Hz 1700VA                    |
| 寸法 / 重量 | 820mm(W) × 1,355mm(D) × 1,464mm(H) / 402kg           |

2. 原理

検体を入れた容器をローターにセットしてローターを回転させることで遠心力により検体の成分を分離します。

【使用目的又は効果】

血液、尿、体液等の試料を遠心分離する装置

【使用方法等】

1. 設置条件

- 1) ほこりがなく、換気がよい場所であること。
- 2) 装置を水平に設置できる場所であること。
- 3) 装置のアース端子を正しく接続すること。
- 4) 指定された電源でありかつ安定であること。
- 5) 室内で使用する。
- 6) 高度は海拔 2,000m 以下であること。
- 7) 主電源の電圧は AC200-240V であること。
- 8) 設置カテゴリ II（過電圧カテゴリ II）であること。  
※設置カテゴリ II：局所レベル。器具や携帯型機器など、設置カテゴリ III より小さい過渡的な過電圧を持つもの。  
例：電源コンセントに接続される一般の電気機器
- 9) 汚染度 2 であること。

※汚染度 2：通常、非導電性の汚染だけが発生する。

ただし、場合によっては、結露によって発生する一時的な導電性は、予測する必要がある。

例：通常の室内雰囲気

2. 使用環境条件

使用環境は、周囲温度 15～32℃、周囲湿度 20～85%RH であること。

3. 使用方法

- 1) 遠心モジュール内部に検体容器が残っていないことを確認してください。
- 2) 遠心モジュールのブレーカー、電源スイッチを入れ、すべてのカバーを閉じてください。
- 3) 上位システムが使用可能状態になると、遠心依頼のある検体を受け入れ可能になります。  
この後は遠心依頼のある検体を自動で取り込み、遠心処理を行います。

詳細な使用方法是取扱説明書をご参照ください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 使用中に装置から異臭、煙、異常音が発生した場合は、直ちに装置の使用を中止し装置背面ブレーカーを切ってください。
- 2) 検体や廃棄物の取扱い時、及び保守点検時は、手袋などの保護具を着用してください。
- 3) 動作中は、前面カバー及び背面カバーを必ず閉めてください。
- 4) 装置内部に水などの液体をかけないでください。万が一、水が装置内部にかかった場合は直ちに装置背面ブレーカーを切ってください。
- 5) 装置動作中は、駆動部に挟まれる、巻き込まれる等の重大な事故につながる恐れがあるため駆動部に触れないでください。
- 6) 保守作業は、電源スイッチを切って行ってください。感電や装置の動作によるケガの恐れがあります。
- 7) 本装置は防爆仕様ではありませんので、可燃性物質、爆発性物質、激しく化学反応する物質の遠心処理は行わないでください。
- 8) 放射性物質、その他有害な物質を遠心する必要がある場合には、試料に応じて必要な安全対策を実施してください。
- 9) 浸食性の強い物質は、遠心ユニットのローター、バケット及び付属品の機械的信頼性を損なう恐れがありますので使用しないでください。
- 10) 故障または緊急時に蓋のロックを手動で解除した場合は、回転が停止するまでローターに触れないでください。
- 11) 試料が装置に付着した場合は、乾いた清潔な布ですぐに拭き取ってください。
- 12) 試料の密度が 1.2g/cm<sup>3</sup> を超える場合は許容回転数を算出し、算出した回転数を超えないように遠心してください。
- 13) 検体の許容遠心力を超える回転数で遠心しないでください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 14) 装置の周囲 300mm 以内は遠心中に人が立ち入らないでください。
- 15) ガラス採血管は使用できません。
- 16) サイバーセキュリティについて
  - ①本装置のご使用にあたり、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に適合する使用環境を推奨します。
  - ②本装置のサイバーセキュリティに関するお問い合わせは本書末尾に記載の【主要文献および文献請求先】までご連絡ください。

#### 【保管方法及び有効期間等】

本装置の有効使用期間（耐用年数）  
使用開始（据付）後 7 年（自己認証による）  
ただし、保守・点検を実施することが必須条件です。

#### 【保守・点検に係る事項】

##### 1. 使用者による保守点検事項

- 1) 点検  
全てのバケット、インサート、ローター及び遠心室に破損及び劣化がないことを適時確認してください。もし破損又は劣化したインサートやバケットがあれば交換してください。  
関係法令等に従って、定期的な点検を実施し、その結果を記録・保管してください。
- 2) 清掃  
外装、バケット、インサート、ローター及び遠心室の汚れをふき取るときは、過酸化物質、塩素化合物、酸及びアルカリ溶液を含まない中性洗剤や消毒液を使用してください。
- 3) グリス塗布  
必要に応じて、遠心ユニットのローター及びバケットヘグリスを塗布してください。

※各項目の実施頻度や実施方法の詳細は取扱説明書の「装置保守」を参照してください。

※点検結果により修理又はオーバーホールが必要であれば弊社担当員に依頼してください。

##### 2. 業者による保守点検事項

少なくとも 1 年ごとに弊社の技術員又は弊社の認定する技術員による定期保守点検を行い、交換の必要な部品は交換してください。  
保守契約にご加入されることをお勧めします。

・定期交換部品：バケット (4 万回動作毎)

#### 【主要文献及び文献請求先】

株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター  
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1  
TEL 0120-487-030

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]  
株式会社エイアンドティー  
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1

取扱説明書を必ずご参照ください。